

平成 17 年 1 月 19 日

各 位

会社名 株式会社 アガスタ
代表者名 代表取締役 松崎みさ
(コード番号 3330 東証マザーズ)
問合せ先 経営企画室 岩本昌也
TEL 03 - 5440 - 6226
(URL <http://www.agasta.co.jp/>)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 16 年 8 月 12 日の決算発表時に公表した平成 17 年 6 月期（平成 16 年 7 月 1 日～平成 17 年 6 月 30 日）の中間期及び通期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 17 年 6 月期中間業績予想数値の修正（平成 16 年 7 月 1 日～平成 16 年 12 月 31 日）

（単位：百万円、％）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	2,914	54	31
今回修正予想(B)	2,745	31	18
増減額(B-A)	169	85	49
増減率(%)	5.7	-	-
(ご参考) 前期実績(平成 15 年 12 月期)	1,747	88	51

2. 平成 17 年 6 月期通期業績予想数値の修正（平成 16 年 7 月 1 日～平成 17 年 6 月 30 日）

（単位：百万円、％）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	6,533	220	127
今回修正予想(B)	5,803	17	10
増減額(B-A)	730	203	117
増減率(%)	11.1	92.2	92.1
(ご参考) 前期実績(平成 16 年 6 月期)	4,564	152	81

3. 修正の理由

(1) 中間業績予想数値の修正

当中間期における業績につきましては積極的に営業活動を行いました。前回発表予想に対して売上高は 169 百万円減、経常利益は 85 百万円減、当期純利益は 49 百万円減となる見込みであります。

主な要因としましては、仕入エリアの拡大や取扱車種の多様化、CIF 契約の増加など、規模拡大に伴う契約形態の多様化で複雑化してきた業務に、社内体制の整備が追いつかなかったことが挙げられます。陸送費や船賃料率等の費用算定が複雑化し、実際の諸費用額が販売価格設定時の見込みを上回り、結果として本来設定すべき『販売価格』より低い価格での販売となった契約が多く発生、売上高の減少及び 1 台あたりの粗利益低下を招きました。当要因につきましては、オペレーション体制・業務管理体制の見直し等、既に対策を講じており、下期は改善が見込める予定であります。

また、特に第 2 四半期において船枠の確保が厳しい状況となり、計画販売台数に達しなかったことも大きく影響しております。

その結果、中間期の売上高は 2,745 百万円、経常利益は 31 百万円、当期純利益は 18 百万円となり、前回発表予想を下回る見込みであります。

(2) 通期業績予想数値の修正

当社では下期以降につきましても新規販売先国開拓など事業拡大・業績向上に努めていく所存であります。しかしながら、以下の要因及び上期の業績を勘案し前回発表予想を修正いたします。

売上高につきましては、当初予定していた人員計画に採用・育成が追いつかず、期初の販売台数計画を修正したことにより、730 百万円減の 5,803 百万円と修正いたします。

経常利益及び当期利益につきましては、前述のとおり、下期の 1 台あたり粗利益は回復が見込めるものの、上期の未達分を補うには至らない見通しです。また、売上高の減少に伴う売上総利益不足分に加え、人材確保・育成に向けた人件費等やシステム投資等、先行投資費用の増加を見込んでいることによるものから 203 百万円減の 17 百万円、当期純利益につきましては、117 百万円減の 10 百万円と修正いたします。

(注) 上記の予想は本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。